

第 41 回東海外来小児科学研究会のご案内

謹啓 時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度下記の要領にて第 41 回東海外来小児科学研究会を開催します。今年は昨年同様に参加者の皆様はワクチン接種を済ませていると考え、必要な感染対策を行いながら対面にて開催したいと思っています。オンラインではなく、リアルだからこそその研究会にしたいと世話人一同準備をおこなっています。今回は午前の部に一般演題、午後は3つのワークショップを企画しました。それぞれ異なったジャンルですが日常診療で役に立つ内容と思われると思います。医療関係者であれば参加の制限はありませんので、多数のご参加をお待ちしております。 敬白

【開催要綱】

日時：令和 5 年 1 1 月 23 日（木・祝）

会場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち

〒450-0002

愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38

TEL: 052-571-6131

FAX: 052-571-6132 <http://www.winc-aichi.jp/>



<プログラム>

【午前の部】 9 時 3 0 分～ 1 1 時 3 0 分 : 一般演題

1 2 時 0 0 分～ 1 3 時 0 0 分 : ランcheonセミナー

「小児アレルギーの最新情報とアナフィラキシー対策～多職種連携～」

（演者：藤田医科大学ばんだね病院小児科教授 近藤康人先生）

【午後の部】 1 3 時 3 0 分～ 1 6 時 3 0 分 （1 3 時開場）

WS1 頭部裂傷に対する縫合不要の治療法

WS2 あらっ！不登校の子が外来にやってきました！

WS3 待合室・病児保育室における遊びのスキルアップ *メディカルスタッフ対象

1. 参加希望の方は下記申込みフォームまたは右上 QR コードより事前登録を行ってください。
<https://t.livepocket.jp/e/toukai41toukai41> WS は申し込み状況に応じて調整します。
2. 参加費は、医師の方は 3500 円（弁当付）、医師以外の方は 2000 円（弁当付）となります。
（日本外来小児科学会会員はそれぞれ 500 円割引となります）
3. 当日参加も受け付けますが、お弁当は準備いたしませんのでご了承ください。
4. 小児科専門医制度の認定単位はありません。
5. 今回の研究会に参加されない方も、上記フォームよりアンケートへのご協力をお願いします。



WS1 頭部裂傷に対する縫合不要の治療法 ～頭髪並置技術（HAT）を学ぶ～

リーダー : 日比将人（医、オーシャンキッズクリニック、愛知県）

サブリーダー : 西田純久（医、キッズクリニックサンタ、愛知県豊田市）

「頭をぶつけて、傷がぱっくり開いています！」

日常診療において、そのような問い合わせの経験はありませんか？小児の頭部裂傷は、ステープラーにより縫合されることが多いですが、マークス・オン医師が開発した頭髪並置技術（HAT）は、局所麻酔や縫合も不要です。誰でも簡単に頭部裂傷の処置ができるため、世界各地の救急医療の現場で利用され、医学部でも教えられています。

実際にハンズオンで HAT を学んでみませんか？

WS2 あらっ！不登校の子が外来にやってきてしまった！

—クリニックでの対応手順と、ニーズに応えるための理解—

リーダー : 梅本正和（医、うめもとこどもクリニック、三重県）

サブリーダー : 和田映子（医、和田クリニック、愛知県）

身体疾患を相手にする小児科医のもとに、突然不登校の子がやってくると、ストレスがかかるものです。困っているのは親の方で、子どもは家にいて困っていないのです。親のニーズと、子どものニーズは異なっていることが多いのです。— 応は、幼少時の経歴や、性格や、学校での出来事を聞き取るでしょう。いろいろなケースがあるでしょう。親と子、それぞれのニーズに合わせた医療サービスの提供と、周りの連携機関との橋渡し役としてのクリニックの役割について、雑談形式でWSをしてみたいと思っています。お気軽にご参加くださいね。

WS3 『待合室・病児保育室における遊びのスキルアップ』

～遊びの深い意味を学び、実践を通して子どものハートをわし掴みしましょう！！』

リーダー：蜂谷明子（医/蜂谷医院小児科/岐阜）

サブリーダー：上荷裕広（薬/すずらん調剤薬局/三重）

サブリーダー：長谷加代子（保/まつだこどもクリニック森のくまさん家/鹿児島） *リモート参加

子どもにとって、遊びは成長のために欠かせない栄養です。

しかし待合室や病児保育室において、罹患している子ども達との遊びには制限があります。

それゆえに楽しく遊んで少しでも元気を出してもらいたいと思います。

そこで罹患している子ども達への配慮も持ちながら、簡単な材料で楽しく盛り上がる遊びを紹介したいと考え企画しました。

材料は用意しますので、一緒に作ったり遊んだり、楽しく体験いたしましょう！

さらに子どもの発達療育における遊びの意義を、「感覚統合」の視点からお話を聞いていただき、それぞれの年齢で獲得する「発達」と「遊び込み」の関係について再考し、遊びをより深く考えたいと思います。子どもを見て、その場で遊びを発展させてあげられるようなコツを体験しながら、遊びの楽しさと深さを感じていただき、実技と学びのWSになればと思います。

御参加、お待ちしております。

（なお、材料費として一人 300 円を会場で集金させていただきます、御了承ください）

東海外来小児科学研究会世話人

愛知県	日高啓量 和田映子	近藤康人	佐野洋史	鈴木研史	日比将人
岐阜県	矢嶋茂裕	浅井俊行	村木敬行	蜂谷明子	
三重県 (担当県)	近藤 久 (代表) 貝沼圭吾	落合 仁 徳田玲子	梅本正和	玉垣浩美	上荷裕広

主催 東海外来小児科学研究会